

入札監視委員会における検証概要	
委員の質問・意見	唐津市の回答
1 令和5年8月から12月までの入札又は契約手続きの運用状況について ● 不落になった案件はないのか。 ● 不調に終わったものが緊急のものでなければよいが。 2 建設工事等競争入札状況の検証について (1) 唐津市清掃センター最終処分場キャッピング等工事 ● 工事後、定期的にどのくらいガスが出てないか、漏水していないかというのを調べる決まりはあるのか。 ● 最大7つの共同企業体が結成可能だったにも関わらず、1つの応札にとどまった理由はどのように考えるか。 ● 技術的にはそんなに難しい工事ではないようだが、どうか。	○ 資料1により事務局から説明 ○ 令和5年8月から12月までの入札が工事及び工事に伴う業務合わせて161件あったが、応札いただけなかった不調が21件発生した。この21件はすべて工事で、不調の発生率は13.04%だった。1年前の同じ時期と比較すると、1年前は16.36%の不調が発生している。不調も減りはしているが、ただ、10%は超えているという状況である。 ○ 緊急のもので不調になってしまった場合は、どこか請けていただけたところを探して随意契約というかたちになる。 ○ 清掃センターで決めている。ガス、有機物質、水質関係の検査は調査をして公表している。それとは別に、周囲にボーリングを掘って水質の観測等を続けている。基本月1回、あとは詳細な水質検査は年1回のペースで経過観察を続けていく予定である。 ○ (豪雨)災害発生直後の時期で、国、県、市それぞれで対応中だったことが関係していると考える。 ○ そうである。扱うのが廃棄物、焼却炉から出た焼却残渣、灰にはなるが、基本的には掘

● 「いっぱいになった」ということだが、次の処分場を他にも作ったのか。 ● どこに持っていくのか。 ● 将来的には、やっぱり地元で作らないといけないと思う。 ● 大分に埋めるのか。 (2) 市道蔵木ダム線（金毘羅橋）ほか3橋補修工事 ● 橋梁の補修となると、ある程度「何でも屋」でないとできないように思えるが、こういう工事に対応できる業者さんは市内にどのくらいいるか。 ● 経年40年くらいの橋梁群ということで、市内の（橋の）劣化調査結果をデータベース化して補修の計画を立てていると思うが、どういうペースで発注していくかみたいなことは検討しているか。 (3) 唐津市浄水センター自家発電設備ほか改築詳細設計業務	削、埋戻しして整地した後に上に舗装をかける工事なので、内容的には難しくない。 ○ 設置しているのはそこ（北波多の清掃センターの最終処分場）のみであり、ここが満杯になったことで、別の所に処分場、埋め立て地があるわけではない。現在、灰は委託というかたちで業者に搬出処理をいただいている。 ○ 大分県の業者に。 ○ 基本的に埋め立て処分である。 ○ 橋梁専門の業者というよりも、橋面の舗装は舗装が出来る業者、防水は防水ができる業者と、細分化された工事内容を、大元の施工業者が下請け業者を駆使して、トータルで橋梁工事を行うことが多いのが実情である。よって、1つの業者で橋梁のすべてを工事できる場所は、唐津市内でも本当にあるのかなのかぐらいのレベルである。 ○ 5年おきの法定点検義務により行い、結果をデータベースにしている。そして橋の判定を1, 2, 3, 4の判定をつけている。その中で3判定以上の橋が危険で早急に必要となる。この判定3以上の橋の中から特に優先して行う橋をピックアップして毎年予算化をして、現在工事をしている。
---	--

● 脱水機は何基あるのか。 ● 全体を2基でやっているのか。	○ 現在2基ある。 ○ そのとおりである。
(4) 鏡中学校長寿命化改良他機械設備工事	
● 応札者が少ないとは言っても、2者応札があったというのは、これまでの他の工事と比べて頑張ったという気がしないでもない。 この地区は教室数としてはどのくらい増やすのか。	○ 改修前は、普通教室が11教室、特別支援学級が3教室。改修後は、普通教室が25教室、特別支援学級が3教室増える予定である。
● 耐震改修は済んでいるか。	○ 済んでいる。
● 委員長の話では（2者応札は）頑張った方という話だったが、金額であったり（高額案件）、最大8共同企業体が結成可能だったということを見ると、もう少し応札する共同企業体がいってもよかったというのが私の感想である。	
● 増築した場所はどこになるのか。	○ （配置図で示して説明。）
● エレベーター棟があるが、エレベーターがあるのか。	○ 今回エレベーター棟も設置する予定である。
● 10年後、20年後の人口予測をすると、そんなに増える話ではないと思う。そのあたりの予測も考えて計画しているか。	○ そのとおりである。
(5) 唐津市新庁舎駐車場整備建築工事	
● 1者しか入札がないということで指摘したが、建設業者が入札しやすいように考えていただきたい。工事が細かく分けてあるが、こういうのをもっと大きくして、年間スケジュールみたいに出して、業者の皆さんが計画的に入っていけるようにすれば、1者だけでなく入札があるのではないかなと思う。	○ スケジュールについては、年間の発注見通しというものを公表している。 工事が細かいのではないかなという部分については、実は全国的にも発注の際に、専門工事は専門でという考えもあり、概ねその考え方に沿って発注をしている。
● 全般的な話にもなるが、1者応札の理由が	○ 働き手、人手不足については、国において

豚熱や自然災害という特殊事情が要因だったと思うが、仮に、こういう特殊事情がなくても1者応札であったのか、なかったのか。深刻なのが、建設業界の人手不足と思う。このあたりはどう捉えているか。 ● デジタル化の時代だから、技術者がオンラインでチェックするということで、一人何件も持つというのはどうか。 ● 市内業者の技術力がもうちょっと上がるような、モチベーションが上がるような価格設定が必要だと思う。さっきの話にあったDX化的なところをもうちょっと推進していく、鼓舞していく、下支えする、という政策も必要と思う。 (6) 唐津市新庁舎駐車場整備電気設備工事 ● 急速充電器、電気自動車充電設備は、有料のものか。 ● 費用徴収のための機械をつける必要が有ったり、公用車かそうでないのかを判別するような機械もあるので、当然高額の工事になりやす	もいわゆる働き方改革というところで工事内容の見直し、週休2日制の導入であったりと、働きやすい職場環境を作ろうという政策をしているので、唐津市もそれに沿った工事発注に心掛けている。 ○ 今全国的な流れで言えば、災害工事であれば現場代理人をある程度緩和する制度もある。同時に様々な工事現場での事故等も発生しているので、そこの兼ね合いのところもあると考えている。 ただ、どうしても法に沿った人員配置というのが必要にはなるので、どの程度まで緩和できるのかというところは審議されるのではないか。 ○ 急速充電器を1基、普通充電器を1基整備する予定。急速充電器については、基本的には来庁者用、お客様用と考えている。もちろん使用料は徴収する。 普通充電器の方は、庁用車、市が使う公用車用として整備をしている。その分については市が使い、お客様が使う分ではないということで、(使用料を徴収するといった)対応はしていない。 ○ 急速充電器については、商業施設などにあったりとか、ほぼ一般化しており、基本的に決済方法としては、カード式での決済になっ
--	---

いということか。 ● 完成はいつ頃か。 ● 電気工事の技術評価はどのようにするのか。 というのが、この工事は、製品を設置することが主な内容であれば、それに対する技術評価はどのようにしているのか。 ● 出来上がって数か月後に、後から成績が悪いという指摘はしているのか。 ● (資料2) 39ページの技術評価、総合評価のところ、圧倒的に入札金額が低くても、例えば技術評価点で、だめだった場合は。	ている。現金での決済というのが、現状急速充電器は取扱いがなく、EV車を持たれている方は基本的に専用カードを持っておるといふかたちになっているので、その専用カードで決済をして料金を払っていただくことになる。 ○ 工期末は6月末である。 ○ 唐津市の総合評価の技術評価については、技術評価はそれほど高くない、いわゆる特別簡易型でしている。 直接的な工事の技術評価というより、地域貢献であったり、主任技術者のいわゆる技術力と工事成績等、そういったところでの評価を行っている。 ○ 工事成績検査は、工事完了後2週間以内に行うことになる。 それ以降に発覚したら、その場合の契約不適合責任については、契約書にも謳っており、契約不適合責任に合致する部分であれば、もちろん手直しというところが出てくると思う。 工事成績については、工事完了後の検査によるため、例えば、わずかな水たまりがあり、半年後に大きくなっているかというところで工事成績が変わることはない。 ○ 通常入札は価格で競争するが、総合評価の場合は価格だけではなく、他の要素を併せて行う。39ページの表でいうと、評価値のところが一番高いかを見る。金額だけではなく、唐津市の場合は工事成績や配置される技術者の成績を見る。あとは地域貢献度など。総合評価をする場合は、あくまで金額だけではなく、その他の要素も必ず評価の対象になるということである。総合評価をする工事と
---	--

● 最適な結果になるという。 ● 技術評価点を、より精度の高いものでお願いする。 (7) 軽量ボルトレスラック（西別館書庫整備用） ● ボルトレスラックは、ほとんど値段が分かっている商品だと思ったので、どういう入札をしたのか、と思った。入札結果が知れたかった。 ● ボルトレスというのは、書庫の溝に引っかかりが無いようにした最新のラックか。 (8) 唐津市子ども・子育て支援事業計画（第3期）策定業務 ● 第2期（前回）は、同じ業者だったか。 ● 第2期は何年前のことか。 ● 8,000名を調査対象者にするのであれば、調査方法等で、とても市の職員数名ではやれないから、それを委託するのはよく分かる。	というのは、全部が全部総合評価をするわけではなく、土木一式工事だと7,000万円以上の工事、建築一式工事だと1億5,000万円以上の工事、今回のこの工事は電気工事なので6,000万円以上といった、ある程度等級が高い業者が入札参加資格者となる工事に限ってそういう落札者を決定する方法を採用している。 ○ はい。 ○ はい。 ○ 基本的にはそうした取付ボルトがないような軽量ラックと位置付けている。このラック自体を市の文書保管箱を格納するために購入していて、西別館の2階に書庫としてそこを整備したので、そこに配置をしている。 ○ そのとおりである。第2期、前回も指名型プロポーザル。5者のうち2者応募があり、今回と同じ業者が落としている。 ○ 5年前である。 第2期計画は、令和2年度から令和6年度までであり、今回の第3期は令和7年度からの計画を策定しているものである。 ○ 市が求めている状況を把握したいということで、調査内容についてはきちんと検討している。それを基に唐津市が今どういう状況
---	---

ただ、調査をすること自体について、市民の協力を得られるのか。 ● 実際、調査は可能か。本当に8,000世帯をちゃんと回って調査するのか。 ● ヤングケアラーについては、調査ではなく、学校や幼稚園とかの先生に直接聞きに行くというのはどうか。(先生達は)ある程度把握していらっしゃると思うが。 ● よかった。 第3期の間だけでも、職員を2,3人増やして専任の方を。それで対応すれば、業者からの助言や調査結果を有効に使えると思う。 あと小学生や中学生でなかなか(調査に対して)話さない子でも、専門的な訓練を受けた人が上手に聞けば喋ってくれるかもしれない。 実態は厳しいので、何としても実態把握を急がねばいけないという趣旨の下にプロポーザルでやったと理解した。	にあって、それにどういう施策が必要なのかというところを考えているところである。 ○ まず未就学児の保護者の2,000世帯に郵送している。 それから小学生の保護者の2,000世帯。 それと別に生活実態調査として、小学校5年生全生徒、それから中学2年生の全生徒とそれぞれの保護者というところで、8,000人が対象となっている。 もちろん、100%戻ってくるわけではないが、このような調査になっている。 ○ もう1点、今社会問題になっているヤングケアラーについて、今回これをプラスすることで、調査内容がこれまでの3倍になっている。 ヤングケアラーについても、実態を把握して今後どういった支援が必要かというところを考えてゆく。 ○ 調査対象の8,000の中に、ヤングケアラーの調査については、学校の担任の先生、養護の先生も含まれている。 これらについては、もう100%アンケートの回答をいただいている。
---	--